

点検・評価報告書（医学研究科）

基準 1 理念・目的

1 現状分析

点検・評価項目①

大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。

<評価の視点>

- ・大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにしているか。
- ・理念・目的を教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。

① 学部等ホームページに、以下の項目を掲載し、社会に公表していますか。

- (1) 日本大学の目的及び使命
- (2) 日本大学の教育理念
- (3) 日本大学教育憲章
- (4) 学部においては、学部、学科ごと、研究科においては、研究科、専攻の課程ごと、短期大学部においては、学科、専攻科ごとの教育研究上の目的

[自己評価]

- 全ての項目を掲載している。
 一部の項目を掲載していない。
 その他回答

② 履修要覧に、以下の項目を掲載し、学生に周知していますか。

- (1) 日本大学の目的及び使命
- (2) 日本大学の教育理念
- (3) 日本大学教育憲章
- (4) 学部においては、学部、学科ごと、研究科においては、研究科、専攻の課程ごと、短期大学部においては、学科、専攻科の教育研究上の目的

[自己評価]

- 全ての項目を掲載している。
 一部の項目を掲載していない。
 その他回答

2 長所・特色・問題点

なし

基準 2 内部質保証

1 現状分析

点検・評価項目①

内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。

<評価の視点>

- ・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価をそれぞれ定期的実施し、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。
- ・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価の客観性、妥当性を高めるために、学生の意見や外部の視点を取り入れるなどの工夫をしているか。

③ 学部等において、PDCAサイクルをどのように機能させているか、内部質保証体制（内部質保証推進委員会、自己点検・評価委員会、各委員会組織、教授会、執行部会等の役割や関係性）や、活動内容について記述してください。

なし

④ 三つの方針について、どの組織が、どのように検証しているか記述してください。

大学院医学研究科教育基本方針（カリキュラム・ポリシー（CP））の改定について、令和5年度第3回卒業後教育委員会（6月19日開催）より第4回（7月10日持ち回り審議）、第5回（9月11日開催）にて継続的に検討した改定案が示され、令和5年度第10回大学院分科委員会（10月11日開催）にて改定の経緯及びその内容について説明があり承認・改訂となった。令和6年度よりホームページ等で公開している。これは平成29年度大学認証評価から本研究科に対して努力課題として、カリキュラム・ポリシー（CP）に教育内容・方法等に関する基本的な考え方が示されていないと指摘があり、これを受けて平成31年度以降、当時の研究委員会及び分科委員会の議を経て検討してきている。令和3年度より卒業後教育委員会で検証することになった。卒業後教育委員長から依頼し、分野ごとに教育的・学術的観点により検証している。

⑤ 外部評価を実施（令和3年度から令和5年度までの期間）している場合、点検・評価項目を記述してください。

なし

⑥ 外部評価の結果、改善・向上に取り組んだ事項について記述してください。

なし

⑦ 今後、外部評価、分野別評価、法科大学院認証評価、JABEE認定を受審する予定があれば記述してください。

なし

⑧ 教育の質の向上を図るために、学生からの意見を取り入れていますか。取り入れている場合は、その内容を具体的に記述してください。

- ・大学院3年次中間発表会の実施方法をシンポジウム形式とし、学生が聴講できる発表会にしている。
- ・修了時に授業評価アンケートを実施している。
- ・修了時に研究指導評価を実施している。

点検・評価項目②

大学の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしていること。

<評価の視点>

- ・教育研究活動，自己点検・評価結果，財務，その他の諸活動の状況等を適切に公表し，社会に対する説明責任を果たしているか。
- ・教育研究活動の情報として，学生の学習実態，学習上の成果に関わる情報を社会に分かりやすく公表しているか。

⑨ 学部等ホームページに公表している学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に定める以下の教育情報は，最新の情報に更新されていますか。

- (1) 教育研究上の目的
- (2) 教育研究上の基本組織
- (3) 卒業の認定に関する方針
- (4) 教育課程の編成及び実施に関する方針
- (5) 入学者の受入れに関する方針
- (6) 教員組織，教員の数並びに各教員が有する学位及び業績
- (7) 入学者の数，収容定員及び在学する学生の数
- (8) 卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況
- (9) 授業科目，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画
- (10) 成績評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準
- (11) 校地，校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境
- (12) 授業料，入学料その他の大学が徴収する費用
- (13) 修学支援，生活支援，進路支援その他の学生支援

[自己評価]

- 全ての項目が更新されている。
 一部の項目が更新されていない。
 その他回答

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。

<評価の視点>

- ・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑩ 学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

なし

2 長所・特色・問題点

【長所・特色】

令和4年度には、学務委員会は教育カリキュラムの改善を計画（Plan）し、実行（Do）する機能に限定した。また、評価（Check）の役割を担うべく、医学部自己点検・評価委員会の下にカリキュラム評価小委員会を設置した。加えて、改善（Action）の役割を担うべく、医学部内部質保証推進委員会の下にカリキュラム改善小委員会を設置した。そのため現時点では、PDCAサイクルを担う組織がようやく整備されたといえる。

基準3 教育研究組織

1 現状分析

点検・評価項目①

大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況が適切であること。

＜評価の視点＞

- ・大学の理念・目的を踏まえ、また、学問の動向や社会的要請等に配慮した上で、教育研究組織（学部・研究科や附置研究所、センター等）を構成しているか。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- ・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

⑫ 学問の動向や社会的要請等に対応すべく、学科や研究所の新設、学科の改組等、教育研究組織の見直しについて、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

教育研究組織が、社会からの要請に即応できる組織であるかの点検・評価やその活性化を図る方策の立案については、企画・広報委員会を中心に学務委員会及び研究委員会等の関係委員会が対応している。また、組織の妥当性の検証に関連する個別の問題に対しては、医学部長から諮問がなされ、必要に応じて専門委員会を設置して検討を重ねた上で、学部の意思決定機関である教授会での審議を経て、答申に基づく施策が実行に移されている。事例として、令和3年4月に医学部長から研究担当に対して、本学部の研究力をこれまで以上に社会に発信すべく、付置研究所の設置等を含めた今後の在り方についての諮問がなされ、令和4年2月に医学部トランスレーショナルリサーチセンター設置の答申があり、同年3月に日本大学医学部トランスレーショナルリサーチセンターが設置された。また現在、今後の研究支援の在り方について、

医学研究支援部門運営協議会において検討を進めている。

2 長所・特色・問題点

なし

基準4 教育・学習

1 現状分析

点検・評価項目①

達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的な在り方を示していること。

<評価の視点>

- ・卒業の認定に関する方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成及び実施に関する方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。
- ・上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。

[卒業の認定に関する方針について] (修士・博士・専門職学位課程)

㉓ 課程・専攻ごとに定めていますか。

[自己評価]

定めている。

定めていない。

その他回答

㉔ 「学生が修得すべき知識」、「技能」、「態度」等、当該課程・専攻にふさわしい学習成果を示していますか。

[自己評価]

示している。

見直す必要がある。

その他回答

㉕ ステークホルダーが見て、分かりやすく、理解しやすい表現・内容となっていますか。

[自己評価]

なっている。

見直す必要がある。

その他回答

[教育課程の編成及び実施に関する方針について] (修士・博士・専門職学位課程)

㉖ 課程・専攻ごとに定めていますか。

[自己評価]

定めている。

定めていない。

その他回答

⑳ 卒業の認定に関する方針との関連性が明確ですか。

[自己評価]

明確である。

見直す必要がある。

その他回答

㉑ 卒業の認定に関する方針に基づき、「教育課程の体系」、「教育内容」、「教育課程を構成する授業科目区分」、「授業形態」、「学修成果の評価」を示していますか。

[自己評価]

示している。

見直す必要がある。

その他回答

㉒ ステークホルダーが見て、分かりやすく、理解しやすい表現・内容となっていますか。

[自己評価]

なっている。

見直す必要がある。

その他回答

点検・評価項目②

学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。

<評価の視点>

- ・学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成及び実施に関する方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。

㉓ 各授業科目は、授与する学位（又は、課程・専攻）と整合していますか。

[自己評価]

整合している。

見直す必要がある。

その他回答

㉔ 各授業科目は、体系的に編成されていますか。

[自己評価]

編成されている。

見直す必要がある。

その他回答

③② 各授業科目の到達目標が、シラバスに明示されていますか。

[自己評価]

- 明示されている。
- 見直す必要がある。
- その他回答

③③ 各授業科目は、学習時間を考慮し、授業期間及び単位が設定されていますか。

[自己評価]

- 設定されている。
- 見直す必要がある。
- その他回答

点検・評価項目③

課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。

<評価の視点>

- ・ 授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成及び実施に関する方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。
- ・ 授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。

③④ 学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性を踏まえた対応をしていますか。

[自己評価]

- 対応している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

③⑤ シラバスは、学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容ですか。

[自己評価]

- 十分である。
- 見直す必要がある。
- その他回答

③⑥ 学生が意欲的かつ効果的に学習できるように、以下の項目について取り組んでいますか。

- (1) 授業の履修に関する指導
- (2) 学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認
- (3) 授業外学習に資するフィードバック

[自己評価]

- 全ての項目について取り組んでいる。
- 一部の項目について取り組んでいない。
- 上記以外の事項について取り組んでいる。
- その他回答

点検・評価項目④

成績評価，単位認定及び学位授与を適切に行っていること。

<評価の視点>

- ・ 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で，公正，公平に実施しているか。
- ・ 成績評価及び単位認定に係る基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。
- ・ 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。
- ・ 学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。
- ・ 卒業の認定に関する方針に則して，適切に学位を授与しているか。

③⑦ 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で，公正，公平に実施していますか。

[自己評価]

- 実施している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

③⑧ 成績評価及び単位認定に係る基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示していますか。

[自己評価]

- 明示している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

③⑨ 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を，客観的かつ厳格で，公正，公平に行っていますか。

[自己評価]

- 行っている。
- 見直す必要がある。
- その他回答

④⑩ 学位授与における実施手続及び体制が明確ですか。

[自己評価]

- 明確である。
- 見直す必要がある。

その他回答

[研究指導計画について] (修士・博士課程)

④① 研究指導計画を大学院要覧に明示していますか。

[自己評価]

明示している。

明示していない。

その他回答

④② 研究指導計画には、入学から学位取得までの研究指導の方法、内容及びプロセスを明示していますか。

[自己評価]

明示している。

見直す必要がある。

その他回答

点検・評価項目⑤

卒業の認定に関する方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。

<評価の視点>

- ・ 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。
- ・ 学習成果を把握・評価する指標や方法は、卒業の認定に関する方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。
- ・ 指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、学部として設定する目的に応じた活用を図っているか。

④③ 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法について記述してください。

学位申請に向けた研究内容の進捗状況確認のため、大学院3年次に中間発表会で関連する分野の准教授によるコメントをもらい、学位論文をより精緻な内容に整える。

④④ 上記指標や方法を用いて把握・評価した学習成果を、学部等でどのように活用しているか記述してください。

中間発表会におけるコメンテーターからのコメントは、発表者及び指導教員にフィードバックし、学位論文作成の研究に活かされている。

[学位論文審査基準について] (修士・博士課程)

④⑤ 学位論文審査基準をホームページに公表していますか。

[自己評価]

公表している。

公表していない。

その他回答

④⑥ 学位論文審査基準を大学院要覧に明示していますか。

明示している。

明示していない。

その他回答

④⑦ 学位論文審査基準には、以下の項目が明示されていますか。

(1) 学位論文が満たすべき水準

(2) 審査体制

(3) 審査方法（項目）

[自己評価]

全ての項目を掲載している。

一部の項目を掲載していない。

その他回答

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。
- ・課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。
- ・自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。

⑤① 教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等について記述してください。

各科目のシラバスに明示された内容に従って授業や研究等が行われているかアンケート等により調査をしている。また、学位申請論文では、ホームページ等で公表している「学位論文審査基準」どおりに審査が行われているかを検証する方法が構築されていないため、今後検討する必要がある。これらは卒後教育委員会、あるいは検証等を行う小委員会又は作業部会を組織して、この対応に当たることが望ましいと思料するが、現状は未定である。

⑤② 点検・評価するに当たり、学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報をどのように活用しているか記述してください。

令和5年度にカリキュラム・ポリシーの内容を、学習方法等を明示した内容に改めた。この新しいカリキュラム・ポリシーにのっとった教育研究が実施されているかどうかは、今後、各

学年の教育課程が終了する段階で、学生の学習成果が設定された目標と整合しているかを検証する必要がある。具体的な検証方法は今後検討していく。

㉓ 教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

カリキュラム・ポリシーを変更したことによる教育方法，指導方法の改善にどのような影響があったかを検証する必要があり，方法については，今後模索していく。

2 長所・特色・問題点

なし

基準5 学生の受け入れ

1 現状分析

点検・評価項目①

入学者の受け入れに関する方針に基づき，学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し，入学者選抜を公平，公正に実施していること。

<評価の視点>

- ・入学者の受け入れに関する方針は，学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。
- ・入学者の受け入れに関する方針は，入学前の学習歴，学力水準，能力等の求める学生像や，入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。
- ・入学者の受け入れに関する方針に沿い，適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平，公正に実施しているか。
- ・入学者選抜に当たり，特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。
- ・全ての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。

㉔ 入学者の受け入れに関する方針を学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定していますか。

[自己評価]

- 設定している。
 設定していない。
 その他回答

㉕ 入学者の受け入れに関する方針には，卒業の認定に関する方針及び教育課程の編成及び実施に関する方針を踏まえた「入学前の学習歴」，「学力水準」，「能力等の求める学生像」及び「入学希望者に求める水準等の判定方法」を志願者等に理解しやすく示していますか。

[自己評価]

- 示している。
 見直す必要がある。
 その他回答

⑤⑥ 入学者選抜を、体制・仕組みに基づき公平、公正に実施していますか。

[自己評価]

- 実施している。
 見直す必要がある。
 その他回答

⑤⑦ 入学者選抜に当たり、特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備していますか。

[自己評価]

- 整備している。
 見直す必要がある。
 その他回答

点検・評価項目②

適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。

<評価の視点>

- ・ 学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。

大学基礎データ（表2）

研究科・課程	入学定員充足率の5年平均 (令和2年度～令和6年度)	収容定員充足率 (令和6年度)
医学研究科（博士課程）	0.46	0.46

⑤⑧ 「大学基準協会の評価の指針」により、定員超過あるいは定員未充足の場合は、どのような対策をとっているか記述してください。

該当なし

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・ 学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・ 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

⑤⑨ 学生の受け入れに関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述して

ください。

卒後教育委員会及び大学院分科委員会で、入学試験実施方法等の変更等に際し、慎重かつ十分な検討を行い、実施に至っている。

2 長所・特色・問題点

【長所・特色】

令和5年第3回卒後教育委員会（6月19日開催）を経て、令和5年第6回分科委員会（6月28日開催）で審議した結果、医師免許状を保有していない者であっても臨床系に出願することが可能となった。なお、申請があった場合は、卒後教育委員会で入学資格審査を実施することになり、大学院医学研究科の門戸を開く意味で有意義なことであり、入学希望者獲得増の手段の一つとして、令和6年度入試要項に記載し、周知している。

基準6 教員・教員組織

1 現状分析

点検・評価項目①

教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。

<評価の視点>

- ・「学部等教員組織編制方針」に基づき、教員組織を編制しているか。
 - ▶専任教員数の遵守，教員の構成
 - ▶教育効果に配慮したクラス編成，専任教員の授業負担への配慮
 - ▶教員の適切な役割分担及び責任の所在の明確化
 - ▶教員の資質向上
 - ▶その他，学部等として重視するポイント
- ・教員は職員と役割分担し，それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで，組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。
- ・TA，SA又はGSAを置いている場合，ガイダンスや研修を実施した上で業務をさせているか。

(修士・博士課程)

⑥3 各専攻における研究指導教員数は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての専攻において満たしている。
 一部の専攻において満たしていない。
 その他回答

(修士・博士課程)

⑥4 各専攻における教授数は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

<input checked="" type="checkbox"/> 全ての専攻において満たしている。 <input type="checkbox"/> 一部の専攻において満たしていない。 <input type="checkbox"/> その他回答
(修士・博士課程) ⑥5 各専攻における研究指導教員数及び研究指導補助教員数の計は、設置基準を満たしていますか。 [自己評価] <input checked="" type="checkbox"/> 全ての専攻において満たしている。 <input type="checkbox"/> 一部の専攻において満たしていない。 <input type="checkbox"/> その他回答
⑥7 特定の教員に過度な授業負担が生じないように、どのように配慮しているか記述してください。 教育・診療・研究をバランスよく行えるようエフォート調査を行っている。
⑥8 教育研究活動を実現するために、教員と職員とがどのように役割分担をし、それぞれの責任を明確にし、協働・連携しているか記述してください。 教職協働を前提としつつ、規程等に関わる調整は主に職員が、学生への教育・研究内容の策定は主に教員が担当し、制度設計においては双方で密に連携し、関連委員会等での調整を経て決定することで、責任の明確化を図っている。
⑥9 TA, SA又はGSAを置いている場合、どのようなガイダンスや研修を実施し、どのような業務をさせているか記述してください。 なし

点検・評価項目② 教員の募集，採用，昇任等を適切に行っていること。 <評価の視点> ・教員の募集，採用，昇任等に関わる明確な基準及び手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っているか。 ・年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っているか。また、性別など教員の多様性に配慮しているか。
--

⑦0 教員を採用するに当たり、どのような方法（公募等）で募集しているか記述してください。 教授及び准教授については、教授会で選出された教授7名（准教授選考は5名）による選考委員会を立ち上げ、公募文書に選考水準を明記し広く公募により候補者を募っている。 助教及び助手については、「日本大学医学部助教・助手選考基準」に従い、所属長が助教又は助手採用が最適であると認めた者を採用している。
⑦1 「教員の募集」，「教員の採用」及び「教員の昇任」について、明文化された基準及び手続に従い公正に行っていますか。

[自己評価]

公正に行っている。

基準や手続き方法を見直す必要がある。

その他回答

⑫ 教員の年齢構成に著しい偏りがないように、どのように取り組んでいるか記述してください。

令和5年度から「日本大学任期制教員規程」による任期制教員の対象として、医学部における教員の適用拡大が認められ、現在までに10名の任期制准教授を任用した。この効果として、医療人材流出の回避・抑制、若手教員のモチベーション向上及び人件費負担の軽減が表れ始めており、今後も積極的に任期制教授及び任期制准教授の任用を活用し、若手医師の確保を行っていく。

⑬ 教員の男女比に著しい偏りがないように、どのように取り組んでいるか記述してください。

令和6年9月現在の女性教員比率は17.2%である。女性教員数はまだ十分とはいえず、女性研究者を育成するための活動が必要と考えている。平成27年に「日本大学医学部におけるライフイベントに対応した研究支援取扱要項」が制定されており、出産・育児・介護等に直面した研究者を、研究活動の継続及びライフワークバランスを両立できるように研究支援者を配置し、研究活動の継続をする取組が行われているほか、令和5年度設置されたダイバーシティ推進委員会からの要望を受け、医師の短時間勤務制度などの検討を行っている。男女の区別なく、全ての教職員が働きやすい環境整備を引き続き行っていく。

⑭ 大学院担当教員の資格審査基準は、大学院設置基準第9条第1項各号に沿ったふさわしい内容となっていますか。

[自己評価]

ふさわしい内容である。

見直す必要がある。

その他回答

点検・評価項目③

教育研究活動等の改善・向上，活性化につながる取組を組織的かつ多面的に実施し，教員の資質向上につなげていること。

<評価の視点>

- ・教員の教育能力の向上，教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取組を行い，成果を得ているか。
- ・教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために，組織的な取組を行い，成果を得ているか。
- ・大学としての考えに応じて教員の業績を評価する仕組みを導入し，教育活動，研究活動等の活性化を図ることに寄与しているか。

⑥ 教員の教育能力の向上，教育課程や授業方法の開発及び改善につなげるために，どの組織が，どのように取り組み，その結果どのような成果を得ているか記述してください。

大学院3年次の中間発表会の際に，准教授がコメンテーターをすることにより，専門分野はもとより，隣接・近接領域への知見を深めることができ，教育・研究の能力の向上が見込まれる。

⑦ 教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために，どの組織が，どのように取り組み，その結果どのような成果を得ているか記述してください。

教員の研究活動や社会貢献等の諸活動は，学会での発表及び論文発表が中心であるため，研究委員会において，教室研究費の後期配分の傾斜配分の算定に，Impact Factor 値とその学術雑誌への掲載論文数のスコアを関連させることで，学術雑誌への掲載の意識付けを行っている。また，平成27年度から英文業績を集計した Research Report を作成しており，優秀論文の表彰や集計結果をホームページで公開することで，本学部における研究の活性化を図っている。

⑧ 教員の教育活動，研究活動，社会活動等に関する業績について，どの組織が，どのように評価しているか記述してください。

教員個人の教育，研究，診療（社会貢献）活動のエフォートバランスについては，所属する教員間で均等になるように，所属長が調整する仕組みとなっているが，令和4年度に受審した日本医学教育評価機構（JACME）による国際基準を踏まえた医学教育分野別評価の評価報告書で，『教員の教育・研究・診療の職務間のバランスを考慮するためのエフォート配分を定めるべきである。』と改善のための助言を受けた。このため，企画・広報委員会で検討し，教員活動のエフォート率の明確化と同活動についての業績評価が行えるように，令和6年度から教員評価シートの運用を開始した。令和6年度中にシステムでの運用を行う予定である。また，集計したエフォート率や業績評価を行うプロセスについては，今後の検討課題である。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- ・教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組む，効果的な取組へとつなげているか。

⑨ 教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

庶務課と教務課で教育・研究・診療に対応するための必要な教員数と長期計画を見越した「教員配置計画」を作成している。ここ数年間は，教員配置数と採用実績に乖離があり，配置数を満たしていなかった。そのため，企画・広報委員会で教員配置について検討し，教授会の議を経た結果，医学部執行部と病院長が中心となり，教員配置計画数である430名を充足できるような体制を整えている最中である。具体的には，各学系分野の固定定員枠とは別に，医学部長

が特に必要と認めた教員を配置できる強化定員を設け、医学部及び附属病院で教育・研究・診療で重点を置くべき分野に教員を配置する予定である。教員数を確保することで、医学教育の質向上や臨床教育の充実、研究活動の強化だけではなく、附属病院の財政面の改善も期待される。

また、令和4年度の全学自己点検・評価で改善事項として挙げられた教員活動のモニタリングと評価制度についても、上述のとおり企画・広報委員会で検討し、令和6年度から教員評価システムを導入し、教員活動のエフォート率については、全専任教員分を集計した。教員活動のモニタリングや定期的な評価を継続的に行うことで、各学系分野の所属長の裁量で行われていた教員活動が平準化され、公平性と透明性が担保された教員評価制度が確立されると見込まれるが、集計したエフォート率や業績評価を行うプロセスについては、今後の検討課題である。

2 長所・特色・問題点

なし

基準7 学生支援

1 現状分析

点検・評価項目①

学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。

<評価の視点>

- ・学生支援に関する大学としての方針に基づき、各種の学生支援体制を整備し、教員と職員がそれぞれ役割を果たしながら支援を行っているか。
- ・各種の学生支援に当たり、専門的な知識・能力や経験を有する者を含む必要なスタッフを配置しているか。
- ・学生支援に関する情報を学生に積極的に提供するとともに、その支援は学生の利用しやすさに配慮しているか。

[修学支援（学習面）]

- ・学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備しているか（補習教育、補充教育、学習に関わる相談等）。
- ・障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っているか。
- ・学習の継続に困難を抱える学生（留年者、退学希望者等）に対し、その実態に応じて対応しているか。

[修学支援（経済面）]

- ・学生に対する経済的支援（授業料減免、学内外の奨学金を通じた支援等）を、学生の実態等に応じて行っているか。

[生活支援]

- ・学生の心身の健康、保健衛生等に関わる指導相談を、学生の実態に応じて行っているか。
- ・学生の孤立を防止するため、人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）を必要に応じて行っているか。

[進路支援]

- ・各学位課程（学士課程，修士課程や博士課程等）や分野等における必要性，個々の学生の特
性等に応じ，就職支援のほか，職業的自立に向けたキャリア教育・キャリア形成支援等の進
路支援を行っているか。

[その他支援]

- ・上記のほか，部活動・ボランティア活動等の正課外における学生の活動への支援等，必要に
応じた支援を行っているか。

[学生の基本的人権の保障]

- ・ハラスメント防止，プライバシー権の保障や苦情申立への対応等，学生の基本的人権の保
障を図る取組を行っているか。

[修学支援（学習面）]

- ㉞ 学生が能力に応じて自律的に学習を進められるように，どのようにサポートしているか記
述してください（補習教育，補充教育，学習に関わる相談）。

なし

- ㉟ 留年者について，どのように状況を把握し，どのように対応しているか記述してください。

学位申請のための「在籍延長」になるため，指導教員に一任している。

- ㊱ 退学希望者について，どのように状況を把握し，どのように対応しているか記述してくだ
さい。

なし

- ㊲ 留年者や退学希望者の減少に向けて，どのように取り組んでいるか記述してください。

なし

[修学支援（経済面）]

- ㊳ 学生に対して，経済的支援（授業料減免，学内外の奨学金を通じた支援を除く）をどのよ
うに行っているか記述してください。

なし

[生活支援]

- ㊴ 学生の孤立化を防止するため，人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）
をどのように行っているか記述してください。

なし

[進路支援]

- ㊵ キャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援をどのように行っているか記述してくださ
い。

なし

[その他支援]

86 正課外における部活動・ボランティア活動等の学生の活動について、どのように活性化を図っているか記述してください。

なし

[学生の基本的人権の保障]

87 ハラスメント防止，プライバシー権の保障や苦情申立への対応等，学生の基本的人権の保障を図る取組について記述してください。

学生の基本的人権の保障については，入学時に資料を配布し理解を求めている。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

88 学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

なし

2 長所・特色・問題点

なし

基準 8 教育研究等環境

1 現状分析

点検・評価項目①

教育研究等環境の整備に関する方針に基づき，学生の学習，教員の教育研究活動に必要な環境を適切に整備していること。

<評価の視点>

- ・教育研究等環境の整備に関する方針に基づき，学生の学習環境や教員の教育研究環境を適切に整備しているか。
- ・学生の学習や教員の教育研究活動の必要性に応じてネットワーク環境や I C T 機器を整備し技術的な支援を行う等により，それらの活用を促進しているか。
- ・学生及び教職員の情報倫理の確立を図るために取り組んでいるか。

<p>⑧9 バリアフリーへの対応をしていますか。</p> <p>[自己評価]</p> <p><input type="checkbox"/>全ての校舎において対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一部の校舎において対応していない。</p> <p>現在、キャンパス整備計画が進行中であり、今後バリアフリー対応を進める予定であるため。</p> <p><input type="checkbox"/>その他回答</p>
<p>⑧0 施設、設備等の安全・衛生の確保に取り組んでいますか。</p> <p>[自己評価]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての校舎において対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>一部の校舎において対応していない。</p> <p><input type="checkbox"/>その他回答</p>
<p>⑧1 施設、設備等の維持及び規定に基づいた管理をしていますか。</p> <p>[自己評価]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての校舎において対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>一部の校舎において対応していない。</p> <p><input type="checkbox"/>その他回答</p>
<p>⑧2 学生や教員に対し、ネットワーク環境やICT機器に関する技術的な支援をどのように行っているか記述してください。</p> <p>ネットワーク環境については、医学部IT管理委員会が組織されており、無線LANやWi-Fi環境の整備が進められている。無線アクセスポイントの増設などを実施し、ネットワーク環境の利便性の向上を図っている。</p>
<p>⑧3 学生の自主的な学習を促進するために、どのように環境整備をしているか記述してください。</p> <p>学生の自主学習を促進するため、各教室を自習室として利用可能とし、さらにPCやプリンター及びシュレッダーを設置した自習室、個室ブースのある自習室並びにグループ学習が可能な自習室など、多様な学習スタイルに対応できる環境整備を進めている。</p>
<p>⑧4 学生に対し、情報倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。</p> <p>入学時のガイダンスで研究者倫理について周知しており、その中で情報倫理を併せて行っている。また、学位申請に当たり、ラーニングプログラム（eAPRIN）を採用し受講するように指導している。その中で、一部SNS利用に関する注意喚起の内容を扱っている。</p>
<p>⑧5 教職員に対し、情報倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。</p> <p>個人情報の取扱いについて、全教職員に「個人情報等データの取扱いに関する注意喚起」の文書をメールで配信し、啓発活動を行っている。</p>

付属板橋病院では、所属する全教職員が受講必須の医療安全講習会において、個人情報保護に関する項目を設け、情報倫理の遵守を徹底している。

点検・評価項目②

図書館サービス及び学術情報サービスを提供するための体制を備えていること。また、それらを適切に機能させていること。

<評価の視点>

- ・ 図書その他の学術情報資料を体系的に整備しているか。
- ・ 図書や学術情報資料の利用促進するための取組を図っているか。
- ・ 図書館には、学生及び教員の利用のために、必要な専門的な知識を有する職員を含む人員を適切に配置しているか。また、図書館等の施設環境が適切であるか。

⑯ 図書や学術情報資料の利用促進のために、どのように取り組んでいるか記述してください。

利用者が必要とする情報（所蔵確認・アクセス方法等）を迅速に提供するため、利用しやすいホームページの充実及びサービス向上に努めている。Webからのアクセスで利用可能な情報及び来館せずとも可能なサービスの周知をし、利用促進を図っている。

雑誌においては電子化を進め、利用状況により契約タイトルの見直しを柔軟に行っている。

⑰ 司書有資格者の人数を記載してください。

専任職員：2人，臨時職員；0人，派遣職員：0人，業務委託職員：3人

⑱ 図書館分館独自の取組について記述してください。

図書館医学部分館では、図書は医学専門書（医療・看護）を第一に収集している。医学関係資料に特化した当分館は、相互利用協力体制の一翼を担っている。

図書館医学部分館は、図書館棟の地下2階から地上2階までの4フロアで構成されており、学生の学修支援のため、開館は平日・土曜日とも午前9時から午後10時までとしている。また、館内には閲覧用座席が243席、情報検索用パソコンが9台設置され、医療に携わる学部として環境整備に努めている。

なお、令和6年度後期より2階をオープン型学習スペースとして改修し、閲覧席との調和を保ちながらも、利用者に優しい図書館となるよう充実を図る。

点検・評価項目③

研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。

<評価の視点>

- ・ 研究に対する大学の基本的な考えに沿って、長期的な視点に立った支援や条件整備を十分にいき、各教員の研究活動の活性化につなげているか（教員に対する研究費の支給、研究室の整備、研究時間の確保、専門的な研究支援人材の活用等の人的な支援、若手研究者育成のための仕組みの整備等）。
- ・ 研究倫理や研究活動の不正防止に関する規程を定め、かつ、学生も含めて研究倫理の遵守

を図る取組を行っているか。

㉑ 外部資金獲得のために、どのような学部等独自の制度や取組があるか記述してください。

研究委員会にて教室研究費の後期配分の傾斜配分の算定に、科研費の採択実績や獲得した外部資金の間接経費額を反映させている。

また、創立 50 周年記念研究奨励金（共同研究）及び同窓会 60 周年記念医学奨励金等の学部研究助成を文部科学省科学研究費助成金の選考基準に合わせ、審査結果を開示することで、外部資金獲得に結び付けている。なお、文部科学省科学研究費助成金の獲得のため、外部機関による講演会及び研究計画調書のレビューサービスを実施している。

㉒ 研究時間確保や研究専念期間保障のために、どのような制度や取組があるか記述してください。

ライフイベント（出産・育児・介護等）に直面した研究者が、研究活動の継続及びライフワークバランスを両立できるよう研究支援者を配置し研究活動の継続を支援することを目的として、日本大学医学部におけるライフイベントに対応した研究支援者配置に関する要項を制定している。

㉓ 若手研究者育成のために、どのように取り組んでいるか記述してください。

医学部研究助成制度である「創立 50 周年記念研究奨励金（共同研究）」、「萩原研究」、「小澤研究」及び「医学部同窓会 60 周年記念医学奨励金による研究助成」における申請資格を 40 歳未満とすることで、若手研究者を優先している。また、文部科学省科学研究費助成金の獲得に向けた外部機関の研究計画調書レビューサービスにおいて、若手研究を対象とすることで、研究費の獲得のみならず研究企画力の養成に努めている。

顕彰制度として、学会発表を行い受賞した学生に対して、医学部長賞（文化部門）や医学部同窓会長賞（文化部門）を与えており、本学部作成の「Research Report」掲載論文において、令和 5 年 12 月から優秀論文賞に若手部門を新設することで、若手研究者に対する研究奨励を打ち出している。

なお、令和 7 年度開講予定の「自由選択医学研究」にて学生全員に医学研究を体験されるコースの開設を予定している。

㉔ RAやPDを置いている場合、どのようなガイダンスや研修を実施し、どのような業務をさせているか記述してください。

PDは、特定の研究プロジェクトに従事するために採用されており、そのプロジェクトの代表研究者によるガイダンス及び管理によって業務に従事している。なお、RAの採用はない。

㉕ 学生に対して、研究倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。

大学院生に対して、指導教員を通じて研究倫理の遵守に関して啓発している。また、大学院生の新生オリエンテーションの際、コンプライアンス教育（ビデオ）の受講を課し、研究倫理教育（eAPRIN）の受講を義務付けている。加えて、教授会において研究不正の報道を情報共有することで、指導教授から教室・学生指導における不正が起こらないような組織風土の涵養に努めている。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑩④ 研究等環境に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

医学研究支援部門運営協議会において、今後の研究支援体制の検討に着手している。また、共同利用環境の維持を観点に点検・評価を行い、研究所予算として研究環境の維持・向上を諮っている。また、今後の医学研究において期待される実験用ブタの飼育室を改修し、飼育頭数の増加により各研究が支障なく進めることができる環境を整備したこと、再生医学研究の主要施設であるC P F (Cell Processing Facility)の維持経費を予算化したこと等が近年の実例として挙げられる。

2 長所・特色・問題点

なし

基準9 社会連携・社会貢献

1 現状分析

点検・評価項目①

社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取組を実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。

<評価の視点>

- ・学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取組を行い、社会に対し周知しているか。
- ・社会連携・社会貢献に関する取組により、地域や社会の課題解決等に貢献し、学部等の存在価値を高めることにつながっているか。
- ・社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対し周知させる取組を行っているか。

⑩⑤ 社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対し周知するために、情報にアクセスしやすいように特設サイトを開設しているか。

[自己評価]

- 特設サイトを開設している。
- 特設サイトを開設していない。
- その他回答

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- ・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑩ 社会連携・社会貢献に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

連携大学院として締結している県立静岡がんセンターから、毎年数名の入学志願者がいるため、卒業教育委員会で研究内容に合った専攻を紹介している。社会人の学び直しとして、社会人大学院生の受入れ人数の増加となっている。

研究委員会及び産学連携研究推進委員会を設置し、各種施策、寄附講座の設置等について審査を行っており、学系・分野単位で支給される「教室研究費」の後期配分において、学外研究費の獲得に伴う間接経費／管理費の額を算定基準としている。また、継続した取組として、付属板橋病院事務局との連携による東京都医工連携HUB機構及び板橋区産業振興公社と共催の医工連携交流会を実施している。

2 長所・特色・問題点

社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対する周知において、現在、医学部HPの研究・研究所＞その他の研究活動＞国際交流・社会貢献等の概要＞研究成果の社会への還元と教職員の社会的活動にて情報を公開している。また、日本医療研究開発機構（AMED）委託事業【研究代表】ページから採択事業の特設サイトにリンクを貼っている。

【問題点】

医学部HPと特設サイトへ誘引するアクセスが容易とは言い難い。今後、特設サイトへの誘引も含め、ホームページにおける情報発信を工夫することが課題である。